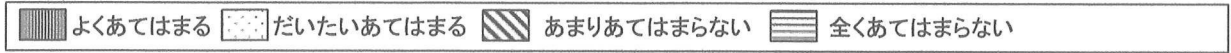
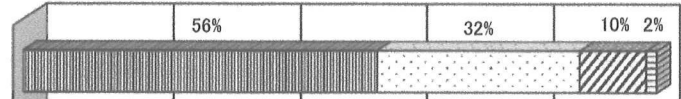


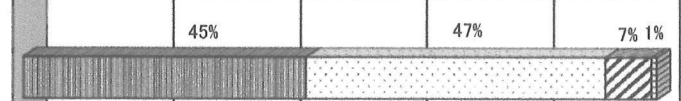
令和4年度 児童対象アンケート集計結果（12月実施）



1 学校へ行くのが楽しい。



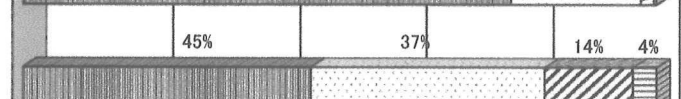
2 自分の学級は、みんな仲がよく、まとまりがよい。



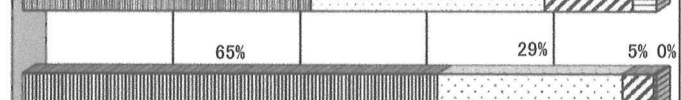
3 学校の先生は、私たちがよく見てほめてくれたり、よくないことについては注意してくれたりする。



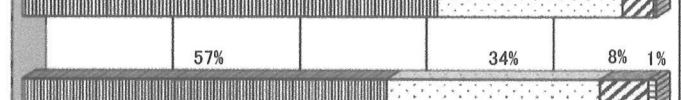
4 学校にはなんでも相談できる先生がいる。



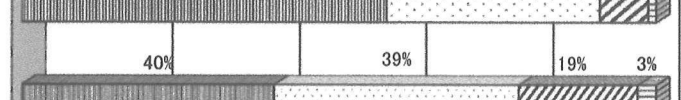
5 先生は、困っている問題（いじめなど）について、すぐに解決できるようにしてくれる。



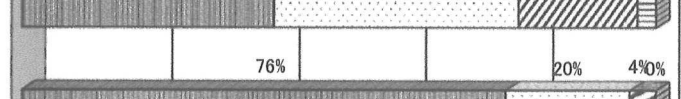
6 学校の授業の内容がよくわかり、楽しく学習している。



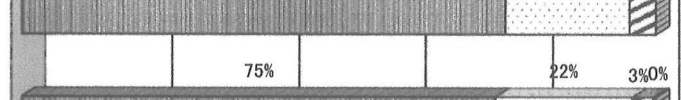
7 私は、図書室やタブレットなどで調べたり、まとめたことを発表したりしている。



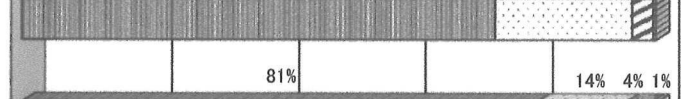
8 道徳の時間などで、命の大切さや思いやりの心を学んだ。



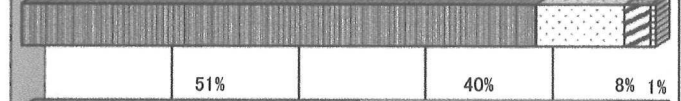
9 実物や本物を見たり、自分で体験したり、専門家の方の話を聞いたりする学習は、楽しいし、よくわかる。



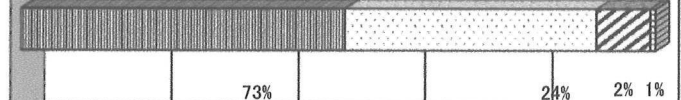
10 朝の読書や「南山おはなし会」の読み聞かせは、楽しい。



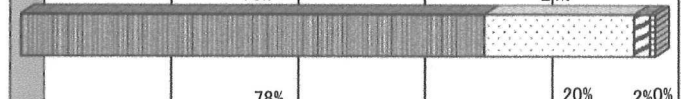
11 先生や友達、地域の人たちに進んであいさつができる。



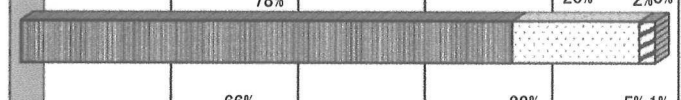
12 私は、交通安全に気を付けて登下校している。



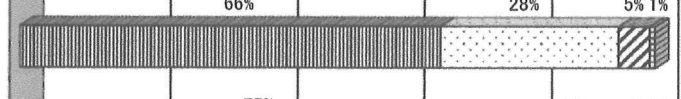
13 係の仕事や、清掃、委員会活動をしっかりやっている。



14 地震（津波）や火事、不審者に会った時、どうすればいいのか知っている。



15 安全や健康に気を付けて学校生活を送っている。

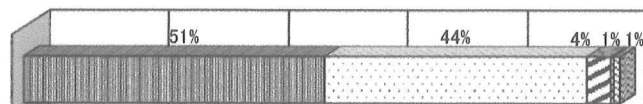


0% 20% 40% 60% 80% 100%

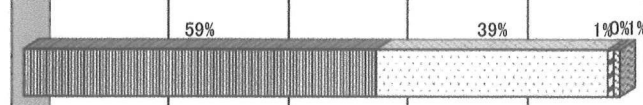
令和4年度 保護者対象アンケート集計結果（12月実施）

よくあてはまる
 だいたいあてはまる
 あまりあてはまらない
 全くあてはまらない
 わからない

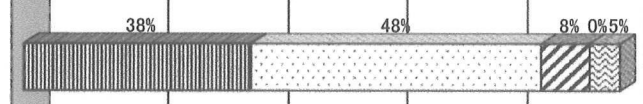
1 子どもは、楽しく学校に通っている。



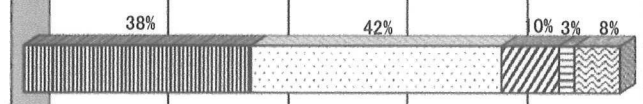
2 子どもは、話ができる友達・仲のよい友達がいると言っている。



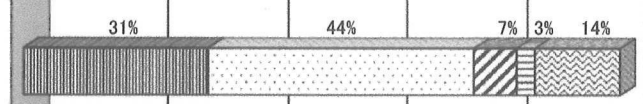
3 学校は、子どもをよく見てほめたり、よくない行動について指導したりしている。



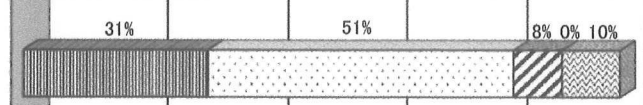
4 学校には、子どものことを相談できる先生がいる。



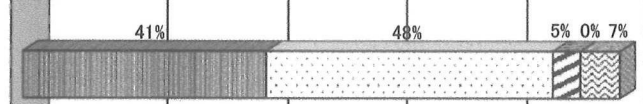
5 学校は、子どもが困っている問題に対応している。



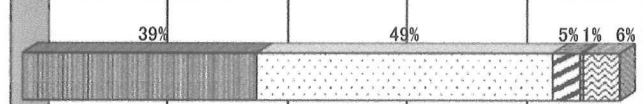
6 学校は、「わかる授業」「楽しい授業」づくりをめざし、指導している。



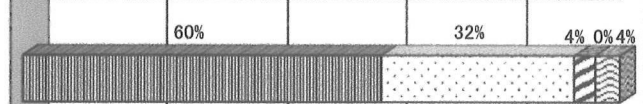
7 学校は、授業内容を工夫し、調べたり発表したりする力を伸ばしている。



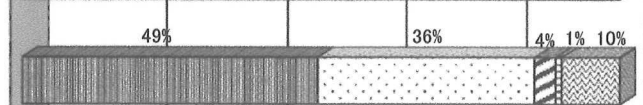
8 子どもは、生命を大切にする心や思いやりの心が育っている。



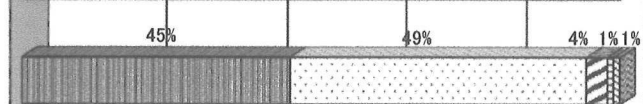
9 学校が行う、本物とふれあう活動や体験は、子どもたちの豊かな心を育むという点で有効である。（観劇会・昔遊び・三河木綿教室・環境チャレンジ・福祉実践教室など）



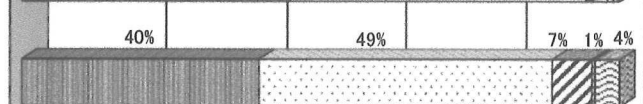
10 朝の読書や「南山おはなし会」による読みきかせは、子どもにとって本に親しむための大切な活動になっている。



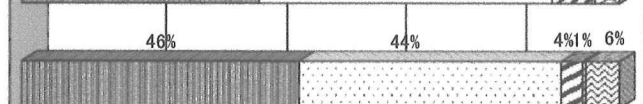
11 子どもは、あいさつや基本的な生活ができるようになってきている。



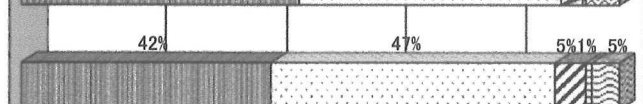
12 学校は、子どもの安全・安心・健康な生活づくりに努めている。（登下校の指導・交通安全教室など）



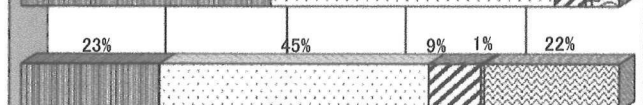
13 学校新聞・学校通信「南山の四季」・学年、学級通信・保健だより・PTAだより等は、学校との連携に役立っている。



14 学校は、学校行事等に参加しやすいようにしている。



15 PTA活動は、子どもの福祉や健康安全、学校環境の整備、会員相互の福祉充実、教養の向上などに努め、役立っている。



0% 20% 40% 60% 80% 100%

令和4年度 学校経営評価アンケート(児童・保護者)まとめ

《項目別アンケート集約結果より》

児童・保護者とも15項目の設問とし、うち12項目について児童の捉えと保護者の捉えが対比できるように、設問内容について考慮してあります。そして、それぞれの設問に対して児童用は「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」「あまりあてはまらない」「全くあてはまらない」のいずれかで回答をしています。保護者用は、さらに「わからない」も加えて回答をお願いしました。

「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」を合わせたものを肯定的な回答ととらえ、結果を考察しました。

- 項目1～2については、児童・保護者とも90%前後の肯定的な回答を得られており、「楽しい学校」「仲のよい学級」と認められていることは、うれしいことです。ただ、「あまりあてはまらない」という回答があることも事実です。今後も、子どもたちに寄り添う努力を続け、不安を抱えている子に寄り添いサポートしていく学校体制、すべての子どもたちが「学校・学級は楽しい」と思える三谷東小学校づくりをめざしていききたいと思えます。
- 項目3～5については、保護者の項目4「相談できる先生がいる」は、昨年度よりも保護者は約2.5%、児童は7%高くなっています。また、項目3・5の先生の指導に対して、児童は、それぞれ2%、1%高くなっているのに対し、保護者は2.8%、2.6%低くなっています。これは、指導について心配されている保護者が増えていることであると、真摯に受け止め、指導の仕方の見直しをするとともに、児童・保護者とのよりよい関係づくりを大切にしていきたいと思えます。
- 項目6～10については、保護者はすべての項目で80%以上、児童は項目7以外で90%以上が肯定的な回答でした。特に、昨年度より高い数値だったのは、保護者の項目7「授業を工夫し、調べたり発表したりする力を伸ばしている」89%（10.7%上昇）、項目9「本物とふれあう活動や体験は、子どもたちの豊かな心を育む…」92%（6.3%上昇）で、身近な「人・もの・こと」とのかかわりを大切にした授業づくりをめざしてきた成果を感じてくださっている結果だと考えます。その一方、児童の項目7は79%と、2%減少しています。昨年度からのタブレット端末の活用試行がひと段落し、必要に応じた活用になったことと、体験的な活動が増えた結果なのではないかと思われます。今後も、タブレットや図書の有効活用を進めながら、「わかる」「楽しい」授業をめざしていききたいと思えます。
- 項目11～14についても、肯定的な回答が、児童は90%以上、保護者もほぼ90%の高水準を保っています。特に、11「あいさつ」の項目では、児童91%、保護者94%で、昨年に比べ1%、1.4%上昇しています。「進んであいさつ」を意識してきた成果だと思います。これからも自ら進んであいさつができる三谷東小学校でありたいと思えます。保護者の項目15「PTA活動は…」は68%と昨年度よりさらに2.3%減少し、「わからない」の回答が22%にもなっています。コロナ禍で、活動の縮小や中止が続き、PTA活動そのものについてよく分からないと思われる方が増えてしまったと考えられます。今後の活動について、PTA役員の方々と内容・方法等の検討をしながら、よりよい方向へと進めていききたいと思えます。ご協力、よろしく申し上げます。

《「学校経営評価アンケート」保護者の声より》

学校教育・各種行事・PTA活動等について、さまざまなご意見をいただき、ありがとうございました。「感染症対策を行いながら学校行事を行っていただき、ありがとうございます」「マラソン大会や運動会を見ることができてよかったです」「いつも子どもたちのために尽力いただき感謝しております」などのうれしい声が届き、とても励みになります。

今後も「三谷東小の子どもたち」のために、保護者・地域の願いを大切にして諸問題を解決する努力を続け、よりよい学校をめざしていききたいと思っております。そのためにも、「子どもたちのための情報提供やご意見・ご助言」「学校行事・PTA活動への積極的なご協力」をよろしく願います。

以下、項目ごとに主なご意見と学校の考えを掲載させていただきます。

【ICT活用について】

「ICTの活用を充実してほしい」「写真や動画などネットで見られるようになればいい」など
⇒昨年度に比べ、子どもたちがタブレット端末を持ち帰って学習に活用したり、欠席連絡やアンケート実施にICT機器を活用したりすることが増えました。コロナ関係の連絡を安心ひろめーるで流すことも多くありました。様々な家庭環境や学校事情で、連絡をすべてメールだけにし、紙媒体は配付しない、という形にはまだ至りません。また、授業をリアルタイムで流したり、インターネット上で動画をあげたりすることも、小学校は、学習へ取り組む姿勢を指導する機会が多いことや個人情報保護の観点から配慮すべきことが多々あり、進めることが難しいと言わざるを得ません。できる範囲で、子どもたちが困らないよう、サポートしていきたいと思っております。

【その他】

「制服を廃止してほしい」

⇒年間を通して、制服を着る機会が少ない現状であるのは承知しています。名札購入中止についてのおたよりでもお伝えしたように、蒲郡市教育委員会が検討委員会を立ち上げ、市内同一歩調で検討していくことになっています。ご承知おきください。

「表現の会を復活させてほしい」

⇒昨年度も同様のご意見をいただいておりますが、大道具・音響などの準備等、先生方の負担がたいへん大きい行事であるだけでなく、よりよい劇にしようと多くの授業時間を費やして練習時間に充てていた経緯を鑑み、令和元年度より表現の会を取りやめさせていただきました。そして、昨年度より、本来の学習時間を充実させ、そのまとめとして、子どもたちが表現を工夫する場とする「学習発表会」を実施しています。昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響でリモート発表でしたが、今年度は、学級または学年ごと実施をし、保護者の皆様に参観していただくことができました。保護者アンケートに「子どもたちはプレゼンを工夫して保護者にわかりやすい発表をしていて、子どもたちの成長をととても感じました」というご意見もいただきましたが、来年度以降、より充実したものになるよう、会のもち方等を検討し、できるだけ兄弟姉妹それぞれを見ていただけるよう工夫していききたいと思っております。